

保 護 者 各 位

こども保 育 課 長

### アレルギー対応食をはじめるにあたって

食物アレルギーとは、食べ物が免疫学的機序を介して<sup>じんましん</sup>蕁麻疹や下痢、腹痛、呼吸困難などの症状を引き起こす疾患です。

アレルギー対応食は「過敏食物を摂取することで引き起こされる体の異常を予防し、健全な日常生活を送る」ための食事です。特に乳幼児は、発育、発達の途上にあるので、無意味な除去を防ぐために、医師の指示を受けて実施することが必須となります。

施設におけるアレルギー対応食実施は、家庭と施設とで一貫したケアをすることが必要となりますので、医師から除去の必要な食品が明記された「生活管理指導表」を御提出ください。

また、緊急時に備えた薬（エピペンを含む）をお預かりする場合は「与薬指示書」が必要となりますので、併せて御提出をお願いいたします。

各施設で出来る範囲内での除去食を基本として実施しています。入所・入園時、及び必要に応じて施設職員と細かく打ち合わせをし、給食への配慮を行います。施設で実施出来かねる場合は、保護者の方に協力をしていただく事もありますので、御理解くださるようお願い致します。

食物アレルギーは個人ごとに原因となる食物や治っていく経過が異なるので継続的な診断を必要とします。専門医を受診し、その結果をお知らせください。

また、次年度に引き続きアレルギー対応食を行う場合**及び年度途中で複数のアレルギー原因食品のうち一部を解除する場合も**、受診の上、再度生活管理指導表と与薬指示書を施設に御提出ください。その内容に基づき面談させていただきます。